

## 自由民主党総裁選挙立候補者に対する提言への回答書

名前 岸田 文雄

項目		選択肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。		下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。
1-①	新型コロナウイルス感染症対策のための財源の確保、地方創生臨時交付金の大幅増額等	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	
1-②	官民連携による医療提供体制の確保、中和抗体カクテル療法など治療環境の整備・充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	国・自治体に与えられた権限をフル活用し、病床・医療人材の確保を徹底することで、必要な医療にアクセスできない状況を改善する。
1-③	実効性ある検査体制、疫学調査、保健所体制の整備	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	
1-④	知事要請に即応した緊急事態宣言等、対策の弾力化、ロックダウン的手法の導入	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	国・地方が人流抑制や医療資源確保において、より強い権限を持てるための法改正を行うとともに、国・地方を通じた強い指揮権限を有する「健康危機管理庁（仮称）」を創設する。
1-⑤	行動制限緩和に向けた地方との速やかな協議、感染状況に配慮した検討、検査無料化	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	通常に近い社会経済活動の再開に向けた「電子ワクチン接種証明の活用と検査の無料化・拡充」を行う。
1-⑥	新たな変異株に対する機動的かつ的確な水際対策の実施	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	
1-⑦	ワクチン接種体制の更なる充実、ブースター接種の実施、国民の理解促進に向けた取組	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	11月中の希望者全員のワクチン接種完了を目指すとともに、経口薬について年内開発に向けて、全力で支援する。
1-⑧	経済再生に向けた補正予算による大胆かつ機動的な経済対策の早期実施等	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	「ステイホーム可能な経済対策」として、十分な経済対策を数十兆円規模で速やかに実施。
1-⑨	地方と連携した新型コロナウイルス感染症に対する偏見・差別等の排除	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	
1-⑩	コロナ禍において顕在化した女性への影響と課題に対応するための支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	非正規・女性・子育て世帯・学生をはじめ、コロナでお困りの皆様への給付金を支給。
2-①	権限・財源移譲や計画の統廃合、国・地方協働型の行政運営などによる地方分権改革の推進	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	
2-②	地方との実質的な対話・連携による施策の推進や立法プロセスへの地方の関与の仕組みの強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	<input type="radio"/> 否	

項 目		選 択 肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。	
2-③	憲法における地方自治の本旨の明確化と合区解消	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	合区解消を含め、我が党が掲げる憲法改正4項目について、国民的な議論を前に進める。
2-④	地方一般財源総額の確保・充実をはじめとする安定した地方税財政制度の確立	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
3-①	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に当たっての地方の意見の反映	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
3-②	5Gの整備加速化及び未来技術を活用したSociety5.0の実装支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	5Gの早期展開など、地方におけるデジタル・インフラの整備や、テレワーク、自動運転などのデジタルの社会実装を行う「デジタル田園都市国家構想」を目指す。
3-③	人材育成の核となる地方大学等への支援、地方への人の流れの創出	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
3-④	地方が行う観光施策やDMOに対する支援・インバウンド需要の回復促進	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
3-⑤	多核連携型の国土づくりに向けた「地方創生回廊」の早期構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
3-⑥	予防・健康づくりの取組に対する支援の充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
4-①	各産業の早期再建に向けた支援体制の構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
4-②	防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	引き続き投資を拡充し、安全・安心な災害に強い地域づくりを進める。
4-③	地方自治体の機能喪失時における広域応援・受援体制の構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
4-④	拉致問題の解決を始めとした北朝鮮への断固とした対応	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	国際社会と共に制裁による圧力を最大限に高め、核・ミサイル開発の完全な放棄を迫り、すべての拉致被害者の即時一括帰国を目指す。
4-⑤	原子力災害時の災害対応のための体制整備	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
5-①	地域医療構想の実現に当たっての丁寧な協議・検討及び必要な財源の確保	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	

項 目		選択肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。	
5-②	感染症などの危機的事象に耐える今後の医師確保、偏在対策	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	コロナの教訓を踏まえた、地域における医療や介護の提供体制の充実支援を行う。
5-③	地域包括ケアシステム構築のための支援の強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
5-④	健康立国の実現及びそれに関する各種制度等に対する支援の充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
6-①	チルドレン・ファーストを実現する「こども庁」の創設	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
6-②	切れ目のない支援による少子化対策、国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
6-③	子どもの貧困対策等の強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
6-④	地方が必要とする教職員定数の確保、専門・外部人材の更なる充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
6-⑤	教育の情報化への財政的支援と情報化による学びの保障	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	一人一台の情報端末、デジタル教科書・教材、映像ライブラリーなどを活用し、個別最適な学びを確立。
6-⑥	ヤングケアラー、不登校児童生徒等、学びが困難な環境にある方への支援強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
7-①	新しいビジネスモデルへの転換支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
7-②	研究開発の取組、資金繰り・投資促進、海外展開の支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
7-③	国産木材の需要創出及び技術開発・人材育成に対する支援の拡充	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	
7-④	地方が利用しやすい官民共同利用型キャッシュレス基盤の構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	

項 目		選択肢	
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。
7-⑤	豚熱に関する長期的支援とアフリカ豚熱に備えた水際対策強化等の実施	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
7-⑥	強い農業と活力ある農村の実現に向けた財政支援等の強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否 国産農畜産物の需給・価格の安定など、農業者の所得向上に向けた「政策総動員」。特にコメはコロナによる価格の大幅下落が懸念されるため、市場隔離を踏まえた十分な支援を検討。
7-⑦	外国人材受入れに係る地方等の意見の反映	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
8-①	孤独・孤立対策の推進	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
8-②	就職氷河期世代の活躍を促進する仕組みづくり・気運醸成等と財政的支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
8-③	新しい働き方に必要な法や社会保障制度に関する整備の検討	<input checked="" type="radio"/> 賛	否 働き方と関係なく、充実したセーフティーネットを受けられるよう、働く方は誰でも加入できる「勤労者皆社会保険」を実現する。
8-④	地域女性活躍推進交付金の制度継続及び十分な財源の確保	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
8-⑤	差別解消に向けた対策の実施及び人権課題に係る財源の確保・充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
9-①	脱炭素社会の早期実現及び地域との共生ができる再生可能エネルギーの導入促進	<input checked="" type="radio"/> 賛	否 再生可能エネルギー一本足打法ではない、原発再稼働などを含む「クリーン・エネルギー戦略」を策定する。
9-②	水素社会の早期実現に向けた技術開発・研究、規制緩和	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
9-③	循環型社会の形成に向けた3R・プラスチックごみ対策、鳥獣対策の充実・強化等	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
10-①	感染防止対策を施した国際大会等の開催及びその効果を波及する施策の実施	<input checked="" type="radio"/> 賛	否
10-②	スポーツ・文化と他産業の融合、アスリート等の育成・強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否

自由民主党総裁選挙立候補者に対する提言への回答書

名前 河野太郎

項目		選択肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。	
1-①	新型コロナウイルス感染症対策のための財源の確保、地方創生臨時交付金の大幅増額等	賛	新型コロナウイルス感染症対策に関する財源については、地方財政に負担をかけないよう、国の責任において確保すべきものである。地方創生臨時交付金については、皆さまと協議させていただきたい。	
1-②	官民連携による医療提供体制の確保、中和抗体カクテル療法など治療環境の整備・充実	賛		
1-③	実効性ある検査体制、疫学調査、保健所体制の整備	賛		
1-④	知事要請に即応した緊急事態宣言等、対策の弾力化、ロックダウン的手法の導入	賛	否	これまでと同様、緊急事態宣言の判断等については、知事の要請に加え、専門家の科学的な知見を踏まえ、しっかりと判断してまいりたい。ロックダウン的手法については、その定義の幅もあることから、皆さまとしっかりと協議すると共に、国会における議論や判断も尊重して考えてまいりたい。
1-⑤	行動制限緩和に向けた地方との速やかな協議、感染状況に配慮した検討、検査無料化	賛		
1-⑥	新たな変異株に対する機動的かつ確かな水際対策の実施	賛		
1-⑦	ワクチン接種体制の更なる充実、ブースター接種の実施、国民の理解促進に向けた取組	賛		
1-⑧	経済再生に向けた補正予算による大胆かつ機動的な経済対策の早期実施等	賛		
1-⑨	地方と連携した新型コロナウイルス感染症に対する偏見・差別等の排除	賛		
1-⑩	コロナ禍において顕在化した女性への影響と課題に対応するための支援	賛		
2-①	権限・財源移譲や計画の統廃合、国・地方協働型の行政運営などによる地方分権改革の推進	賛	地方財政に関しては、財源・制度のあり方について、基盤強化の必要性を共有しつつ、基金等の扱いも含め、皆さまと協議させていただきたい。	
2-②	地方との実質的な対話・連携による施策の推進や立法プロセスへの地方の関与の仕組みの強化	賛		

項 目		選 択 肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。		下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。
2-③	憲法における地方自治の本旨の明確化と合区解消	賛	否	憲法に関わる問題でもあり、国会においてしっかりと議論されることが望ましいと考える。
2-④	地方一般財源総額の確保・充実をはじめとする安定した地方税財政制度の確立	賛		
3-①	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に当たっての地方の意見の反映	賛		
3-②	5Gの整備加速化及び未来技術を活用したSociety5.0の実装支援	賛		
3-③	人材育成の核となる地方大学等への支援、地方への人の流れの創出	賛		地方大学の意義は重要である前提で、我が国の高等教育全般の改革が求められており、学生にも国にも地域にも有用な高等教育機関づくりを進めたい。
3-④	地方が行う観光施策やDMOに対する支援・インバウンド需要の回復促進	賛		
3-⑤	多核連携型の国土づくりに向けた「地方創生回廊」の早期構築	賛		
3-⑥	予防・健康づくりの取組に対する支援の充実	賛		
4-①	各産業の早期再建に向けた支援体制の構築	賛		
4-②	防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進	賛		
4-③	地方自治体の機能喪失時における広域応援・受援体制の構築	賛		
4-④	拉致問題の解決を始めとした北朝鮮への断固とした対応	賛		
4-⑤	原子力災害時の災害対応のための体制整備	賛		
5-①	地域医療構想の実現に当たっての丁寧な協議・検討及び必要な財源の確保	賛		

項 目		選択肢	
番号	提言要旨	いずれかを○で困 んでください。	下記欄には各項目についての主張を 御自由に記載ください。
5-②	感染症などの危機的事象に耐えうる今後の医師確保、偏在対策	賛	
5-③	地域包括ケアシステム構築のための支援の強化	賛	
5-④	健康立国の実現及びそれに関する各種制度等に対する支援の充実	賛	
6-①	チルドレン・ファーストを実現する「こども庁」の創設	賛	
6-②	切れ目のない支援による少子化対策、国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止	賛	
6-③	子どもの貧困対策等の強化	賛	
6-④	地方が必要とする教職員定数の確保、専門・外部人材の更なる充実	賛	
6-⑤	教育の情報化への財政的支援と情報化による学びの保障	賛	
6-⑥	ヤングケアラー、不登校児童生徒等、学びが困難な環境にある方への支援強化	賛	
7-①	新しいビジネスモデルへの転換支援	賛	
7-②	研究開発の取組、資金繰り・投資促進、海外展開の支援	賛	
7-③	国産木材の需要創出及び技術開発・人材育成に対する支援の拡充	賛	
7-④	地方が利用しやすい官民共同利用型キャッシュレス基盤の構築	賛	キャッシュレス基盤だけでなく、デジタル基盤全体の強化推進を進めるにあたって、標準化のメリット確保と各地方の特性を活かすことが両立できるように図りたい。

項 目		選択肢	
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。
7-⑤	豚熱に関する長期的支援とアフリカ豚熱に備えた水際対策強化等の実施	賛	
7-⑥	強い農業と活力ある農村の実現に向けた財政支援等の強化	賛	
7-⑦	外国人材受入れに係る地方等の意見の反映	賛	
8-①	孤独・孤立対策の推進	賛	
8-②	就職氷河期世代の活躍を促進する仕組みづくり・気運醸成等と財政的支援	賛	
8-③	新しい働き方に必要な法や社会保障制度に関する整備の検討	賛	
8-④	地域女性活躍推進交付金の制度継続及び十分な財源の確保	賛	
8-⑤	差別解消に向けた対策の実施及び人権課題に係る財源の確保・充実	賛	
9-①	脱炭素社会の早期実現及び地域との共生ができる再生可能エネルギーの導入促進	賛	
9-②	水素社会の早期実現に向けた技術開発・研究、規制緩和	賛	
9-③	循環型社会の形成に向けた3R・プラスチックごみ対策、鳥獣対策の充実・強化等	賛	
10-①	感染防止対策を施した国際大会等の開催及びその効果を波及する施策の実施	賛	
10-②	スポーツ・文化と他産業の融合、アスリート等の育成・強化	賛	



1-① 新型コロナウイルス感染症対策のための財源の確保、地方創生臨時交付金の大幅増額等

否 令和3年分については、知事会の皆様、市町村長会の皆様とも協議し、必要な額を確保しました。それはご理解いただけていると思います。令和4年分については、コロナの状況を見ながら判断したいと考えており、現時点で大幅な増額を約束することはできません。私は現在の政府方針と同じく、11月にも経済再起動に向けて政策を総動員するべきだと考えており、何としても感染を収束させ、一刻も早く平常の状態を取り戻すために全力を尽くすことをお約束します。

1-② 官民連携による医療提供体制の確保、中和抗体カクテル療法など治療環境の整備・充実

賛 今回のコロナで国民は多くのことに気づきました。その重要な一つが医療提供体制で、今回のように全国を対象にした緊急時には国がセンター機能を持ち、地方自治体や医療機関、医薬品企業、自衛隊などと総合調整しながら、国が責任を負う体制が必要だと認識しました。知事会におかれましても、緊急時には国の要請や指示にご協力賜りますよう、よろしく願いいたします。

1-③ 実効性ある検査体制、疫学調査、保健所体制の整備

賛 国の責任において、今後は地方自治体の保健所機能の強化や、国の感染症センター機能の強化を進めたいと思いますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

1-④ 知事要請に即応した緊急事態宣言等、対策の弾力化、ロックダウン的手法の導入

賛 今回のように、全国にリスクがある新型感染症の場合、知事の要請による形がよかったのかどうか、検証が必要だと考えています。国の責任と都道府県あるいは市町村の役割を定めるとともに、隙間が生じる部分については国が責任を負う体制が良いと考えています。今後さらに強力な感染症に襲われる場合を想定し、ロックダウンなど国民の権利制限の法整備が必要だと考えています。

1-⑤ 行動制限緩和に向けた地方との速やかな協議、感染状況に配慮した検討、検査無料化

否 出口戦略については、都道府県や市町村と協議のうえ、地域の実情に合わせて進めてまいります。感染症として今後も調査が必要なので、保健所には一定のご負担をおかけしますが、ご理解いただきたいと思います。費用負担の在り方については、国と地方自治体で適正な負担の在り方を検討します。

1-⑥ 新たな変異株に対する機動的かつ的確な水際対策の実施

賛 水際対策については、今回の経験を踏まえ、機動的に迅速に対応してまいります。縦割り、横割りの弊害をなくすよう、体制整備を進めます。

1-⑦ ワクチン接種体制の更なる充実、ブースター接種の実施、国民の理解促進に向けた取組  
賛 ワクチン接種についても、今回の経験を活かし、マイナンバーを活用して管理できる  
簡単で便利なシステムの構築をふくめ、平時から緊急時を想定して整備を進めます。ブースタ  
ー接種や混合接種については、知見を集めて対応します。ワクチンに関する情報提供と理解促  
進に積極的に取り組みます。

1-⑧ 経済再生に向けた補正予算による大胆かつ機動的な経済対策の早期実施等

否 持続化給付金や家賃給付金の再支給については、その効果や不正の多発などを考慮し  
て、現在は検討しておりません。今後の対応については、感染状況などを勘案して検討します。  
バラマキは控え、真に経済効果のあるもの、こどもまんなか政策に合致するものに限って予算  
を計上します。

1-⑨ 地方と連携した新型コロナウイルス感染症に対する偏見・差別等の排除

賛 デマや世論誘導、インターネットを使った誹謗中傷や差別などは、絶対に許しません。  
人権が守られ、偏見や差別、いじめのない社会のために全力を尽くすことをお約束します。

1-⑩ コロナ禍において顕在化した女性への影響と課題に対応するための支援

賛 コロナ禍において、女性の自殺が増えていることに象徴される、女性が生きづらくな  
っていることは最も深刻に受け止めています。孤独や孤立、生計や子育てに悩む女性、苦しん  
でいるシングルマザーなどをしっかりと守ってゆきます。困難な状況にある子供たちは、国が  
責任をもって守ります。

2-① 権限・財源移譲や計画の統廃合、国・地方協働型の行政運営などによる地方分権改革の推進

賛 地方分権については、その時の状況によって、国が責任をもってやれと言われてたり、  
国が関与せず地方に決めさせろと言われてたり、地方からの声も右に左に大きく振れ続けていま  
す。一度立ち止まって、地方分権はどうあるべきか、しっかりと議論し結論を導きたいと思  
います。

2-② 地方との実質的な対話・連携による施策の推進や立法プロセスへの地方の関与の仕組  
みの強化

賛 地方分権に関する協議の場、立法プロセスに地方の声を聞く仕組みは非常に重要で  
るので、しっかりと進めます。

## 2-③ 憲法における地方自治の本旨の明確化と合区解消

賛 地方自治をどのように憲法に規定するかはしっかりと議論しなければなりません。昭和の時代に作られた今の憲法は、令和の時代に合ったものに変えてゆく必要があると考えています。参議院の役割についても、国民的議論が必要だと考えており、憲法改正に向けた議論を進めます。

## 2-④ 地方一般財源総額の確保・充実をはじめとする安定した地方税財政制度の確立

賛 地方財政については、今後も国が一定の責任を持ちつつ、国と地方を通じた全体の健全化に努めてまいります。

## 3-① 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に当たっての地方の意見の反映

賛 地方創生については、私も非常に力を入れてゆく分野ですので、地域の声を聞きながら結果を出してまいります。復興のゴールをお示しするとともに、オリンピックの成果を地方創生に活かせるように努力します。

## 3-② 5Gの整備加速化及び未来技術を活用した Society5.0 の実装支援

賛 狭い国土をチャンスに変えるのは、情報通信能力しかないと思っています。情報通信力において世界一を目指し、各企業が積極的に投資できるよう環境整備を進めます。

## 3-③ 人材育成の核となる地方大学等への支援、地方への人の流れの創出

賛 「こどもまんなか」の重要政策が教育改革です。地方独自の取り組み、多様性を引き出せる取り組みには全力で支援します。地方創生の原動力は人材です。地方大学がその拠点となれるよう、しっかりと支援します。

## 3-④ 地方が行う観光施策や DMO に対する支援・インバウンド需要の回復促進

賛 地方がそれぞれの持つ魅力を、国内、国外に正しく伝えることができれば、学びや癒し、様々な経験のために地方を訪れる人は必ず増加します。DMO、インバウンド、国内消費の回復に向けて全力で支援します。

## 3-⑤ 多核連携型の国土づくりに向けた「地方創生回廊」の早期構築

賛 多核連携型のまちづくりは、地方創生のモデルであることから、各交通機能が連携した「地方創生回廊」の構築に向けて国が先頭に立ちます。

## 3-⑥ 予防・健康づくりの取組に対する支援の充実

賛 これまでの取り組みに加えて、データを利活用することで、さらに充実した健康政策を進められるものと考えています。パラリンピックによって国民の意識は変わりました。障害者も、高齢者も、スポーツを通じて健康増進できる環境を作ります。

#### 4-① 各産業の早期再建に向けた支援体制の構築

賛 災害からの復旧に関して、困難を抱えていることについては国が責任をもってそれを解消します。風評対策としての情報発信については、これまで以上に力を入れます。

#### 4-② 防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進

賛 国民の命と暮らしを守るうえで、国土強靱化は国の責任として進めてまいります。地方自治体の協力のもとに、デジタル技術なども活用して、地域全体、公共施設を中心として面的な強靱化を進めます。

#### 4-③ 地方自治体の機能喪失時における広域応援・受援体制の構築

賛 これまでの災害を経験する中で、広域支援や受援の仕組みは極めて重要です。その時に都道府県と国が役割を果たせるよう、普段から体制整備に努めます。

#### 4-④ 拉致問題の解決を始めとした北朝鮮への断固とした対応

賛 拉致問題は人権問題です。北朝鮮は難しい国ですが、まるで難しさを抱える子供の心を開くように、私自身が先頭に立ち、対話の扉を開かせ、必ず解決に導きます。

#### 4-⑤ 原子力災害時の災害対応のための体制整備

賛 原子力を国の基幹的エネルギー源と位置付けるうえで、避難路の整備や避難先の確保、原子力防災体制の整備は国の責任において行わなければなりません。しっかりと進めます。

#### 5-① 地域医療構想の実現に当たっての丁寧な協議・検討及び必要な財源の確保

賛 コロナにおいて多くの国民が求めているのは、地域ごとの平時、および緊急時の地域医療構想です。かかりつけ医をしっかりと定義し、地域ごとの特長に合わせて、地域医療構想の策定を支援します。

#### 5-② 感染症などの危機的事象に耐えうる今後の医師確保、偏在対策

賛 医師の確保については、医師の偏在是正とともに、地域が主体となって地域で働く医師の確保ができるよう、医学部定員の別枠確保や柔軟な選抜の仕組みを継続します。働き方改革に伴う医師派遣の在り方については、地域の医療提供に影響が出ないよう工夫する一方で、派遣される医師の健康管理や適正な報酬の確保を進めます。

#### 5-③ 地域包括ケアシステム構築のための支援の強化

賛 地域包括ケアは、今回の新型コロナウイルス感染症を受けて、見直しを進めながら充実させる必要を多くの国民が感じています。国と県が中心になって、充実を進めます。

#### 5-④ 健康立国の実現及びそれに関する各種制度等に対する支援の充実

賛 都道府県が主体となって、医療費適正化を進めることが最も重要です。地域独自の診療報酬についても、都道府県が医療提供体制とその費用の適正化の主体となるためには必要な考え方と理解しています。子ども医療費の在り方については、私は「こどもまんなか」を重要な政策にしています。その視点から子ども医療費の姿を見ると、財政力のある東京23区は中学卒業まで所得制限なしで医療費ゼロ、逆に本来は地方創生で今後子どもを増やしたい地方自治体は財政力の制約から子ども医療費を支援できない状況となっており、つまり、私たちの目指す方向とは異なる形で東京・大都市一極集中を助長することとなっております。したがって、地方での子育てを支援する観点から、財政力の弱い地方に手厚い支援となるよう、国民健康保険の調整を効かせられないか、検討したいと思います。

#### 6-① チルドレン・ファーストを実現する「こども庁」の創設

賛 「こども庁」の創設は、私の政策の1丁目1番地です。総理就任後すぐに担当大臣を配置し、法改正や予算確保など、設置に向けた取り組みを加速します。

#### 6-② 切れ目のない支援による少子化対策、国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止

賛 私の目標は、希望出生率2.0を超えることです。このためにあらゆる政策資源を投入します。こども庁を中心に、出会いから結婚、妊娠、出産、夫婦ともどもの子育て、保育や教育まで、切れ目なく支援する体制を作ります。子ども医療費助成もその重要な一つととらえておりますが、全国一律、あるいはどうしても結婚世代の給料が安い地方のほうに手厚い制度にできないか、工夫したいと考えています。

#### 6-③ 子どもの貧困対策等の強化

賛 子どもの貧困対策も、私が特に力を入れてゆく政策です。国と地域が連携して、子どもを様々な目で見、気づいて、対応する体制が必要です。教職員定数にこだわるより、学校職員の多様化、スクールソーシャルワーカーの配置のほうが重要と考えます。いじめをなくし、その子の家庭まで支援しようとしたとき、1クラスの定員を減らすことは有効とは言えません。昭和の発想による昭和の延長線上にある学校の形を、思い切って令和型に改革したいと考えています。

#### 6-④ 地方が必要とする教職員定数の確保、専門・外部人材の更なる充実

否 学校を令和型に改革するにあたって、教師の「数」や1クラスの「数」にこだわるのは日教組の発想、昭和の発想そのものです。知事会も発想を変えていただきたいと思います。これからは、「質」と「多様性」にこだわらなければなりません。教師による暴力や性犯罪が発生し続けています。学校現場の意識改革が必要です。スクールソーシャルワーカーなど、多様性のある専門家の配置は、積極的に進めます。教材のデジタル化、平時からのオンライン授業を進めます。家で学ぶ、あるいは日本トップの教師の指導を日本全国で同時に受ける、など、新しいスタイルの学び、子どもたちの多様な学校活動の在り方を探してゆきます。「多様性」「ひとりひとりの個性と強みを伸ばす」「多くの目で子どもたちを見守る」をキーワードに、「昭和の学校」から、「令和の学校」に抜本的に改革したいと思います。

#### 6-⑤ 教育の情報化への財政的支援と情報化による学びの保障

賛 国が先頭に立ってデジタル教材を開発します。また平時から ICT を利活用することにより、災害時や今回のような感染症拡大時、さらには毎年の年末年始におけるインフルエンザの拡大時にも学校が止まらず運営できるよう、体制を整備します。

#### 6-⑥ ヤングケアラー、不登校児童生徒等、学びが困難な環境にある方への支援強化

賛 ヤングケアラー対策は、ご指摘の「認知度の向上」にとどまらず、国が先頭に立って積極的に支援します。現在は、居場所づくり、相談体制、週に1回くらいのヤングケアラーのレスパイトなど、あらゆる面で支援が不十分です。思い切った政策を投入します。児童相談所、児童養護施設の運営とその退所者対策も不十分と感じており、予算の増加などで対応します。不登校対策や夜間中学の問題なども、先述の「令和型の学校」の在り方と連動して解決すべき問題ととらえており、財政支援を充実させます。高等学校や高等専門学校、各種専門学校も充実させ、子どもが自分の将来を見据えながら、自分の優れた能力を見つけ、それにまっすぐ学べる体制を作ります。

#### 7-① 新しいビジネスモデルへの転換支援

賛 令和の時代は、終身雇用も、年功序列も、一斉定年も、ぜんぶ無くさなければなりません。「多様性」をキーワードに、ひとりひとりがスキルを獲得し、会社に勤めあげるもよし、転職するもよし、副業を持つもよし、自営業を始めるもよし、ひとりひとりが自分の人生の生き方を決める時代にしてゆきます。そのための人材支援は徹底的に進めます。

#### 7-② 研究開発の取組、資金繰り・投資促進、海外展開の支援

賛 デジタル行政が拡大すれば、これまでの企業支援や産業支援の在り方も変わってきます。研究開発については多極化、分散化、ネットワーク化が進むと思われます。海外展開の形も大きく変わり、今までの資金調達ではなくなると思います。時代に合わせた企業支援を進めます。

### 7-③ 国産木材の需要創出及び技術開発・人材育成に対する支援の拡充

賛 日本のは、海外の専門家からも高く評価される高品質の材料です。日本が持つ「木」の力に、ラミネートなどの日本の「化学」の力を組み合わせて、世界で勝負できる木材を作ります。また、セルロースナノファイバーなど、新しい可能性を開きます。

### 7-④ 地方が利用しやすい官民共同利用型キャッシュレス基盤の構築

賛 デジタル技術は自治体の役割や仕事の進め方も大きく変えると思います。自治体が自治体ポイントでもって住民のキャッシュレス化や決済基盤を作れるのかどうか不明ですが、自治体が行いたいことをやれるように、支援を進めます。

### 7-⑤ 豚熱に関する長期的支援とアフリカ豚熱に備えた水際対策強化等の実施

賛 豚熱も、今回の新型コロナと同じく大きな脅威のある感染症です。感染症は人だけ、家畜だけ、というわけにはいかず、相互作用する場合があります。迅速で確実な対応を進める必要があり、水際で止める、ワクチンなどを開発する、隔離や処分などは迅速に行う、といったことを国の強いリーダーシップで進める体制を作ります。

### 7-⑥ 強い農業と活力ある農村の実現に向けた財政支援等の強化

賛 私は、農業は「経済安全保障」を構成する重要な分野ととらえており、今後食料自給率の確保など、国として守るべきラインはどこか、ということを見極めて責任ある対応を進めます。あわせて、「こどもまんなか」の視点から、農薬を減らし、化学肥料を減らし、子どもたちが安心して食べられる食べ物の確保、食育の推進にも力を入れます。これからの農家の後継者を作るには、「多様性」と「デジタル化」がキーワードです。日本がこれまで作ってきた、まるで「芸術品」のような、「味よし」「見た目よし」「栄養価よし」の「三方よし」の農林水産業を推進します。

### 7-⑦ 外国人材受入れに係る地方等の意見の反映

賛 外国人受け入れについて、地方の意見は重要と考えます。現在の制度では、「受け入れ団体を設立するとき」「外国人が入国するとき」という「入口」は厳格で、そのさきの運営や入国後はチェックが緩いという、良くない状況が続いています。地域の声を聞きつつ、受け入れ団体の運営が正しいかどうか、入国後の外国人が差別や被害にあっていないかチェックするなど、体制整備を強化します。

### 8-① 孤独・孤立対策の推進

賛 孤独、孤立対策は徹底して進めます。特に、シングルマザーが孤立して、母も子も苦しんでいることを放っておくわけにはいきません。必ず支援します。高齢者の孤独、孤立は、相談や支援に接続することが大切です。地域の見守り力を高めて、情報を共有し、支援できる期間に接続するよう体制を整えます。

#### 8-② 就職氷河期世代の活躍を促進する仕組みづくり・気運醸成等と財政的支援

賛 就職氷河期を支援し、希望者には結婚や子供を持つ家庭につなげてゆくことが一番大事だと考えています。リカレント教育や、就職の支援、副業などの支援、出会いの場の確保など、あらゆる視点から支援を進めます。

#### 8-③ 新しい働き方に必要な法や社会保障制度に関する整備の検討

賛 特に弱い立場の方々が生き生きと働ける環境づくりが何よりも大事です。その一つの答えがデジタルで、これまで見えなかった能力を開花させられるよう、国が支援します。障害のあるかたに対する移動支援や家事援助について、労働時間や通勤とみなされると打ち切りになるのは改善しなければなりません。制度の縦割りは行政の側の問題であって、支援を受ける人が不便や困難になってはいけません。行政側と雇用者側で協議調整する仕組みに見直します。

#### 8-④ 地域女性活躍推進交付金の制度継続及び十分な財源の確保

賛 女性の賃金を徹底してあげてゆくことが必要です。経済の自立を支援することが何よりも重要だと考えています。また育児休業は男女ともに確実に取得することを進めます。その間の賃金も100%補償します。第一子をしえんすることが第二子、第三子につながるという考え方のもとに、各種支援を全面的に見直します。

#### 8-⑤ 差別解消に向けた対策の実施及び人権課題に係る財源の確保・充実

賛 私はあらゆる差別とは徹底的に戦います。インターネットの時代になり、外から見えない差別、見えないいじめ、見えない人権侵害が起きています。先進国でも差別問題は無くなるどころか、深刻化しています。私自身が先頭に立って、世界で最初にあらゆる差別をなくす国づくりを進めます。

#### 9-① 脱炭素社会の早期実現及び地域との共生ができる再生可能エネルギーの導入促進

賛 脱炭素に向けては、あらゆる政策を動員して、実現を目指します。しかし、脱炭素がくびきとなって、日本の国力、国の豊かさを失ってしまってはなりません。強くて豊かな国でなければ、弱きもの、小さきものを守ることができない、というのは私の信条であり、脱炭素と豊かな国力の両立を目指します。電源は「安定性」を最優先にし、バランスの良い電力攻勢を目指します。新電力事業者と、安定供給の責務を負う既存の電力事業者との間において、何が公正な競争の在り方なのか、双方の意見を公平に聞き取って判断します。

#### 9-② 水素社会の早期実現に向けた技術開発・研究、規制緩和

賛 水素は今後日本の強みとなりうる重要な資源であり、水素の安価で安定的な供給と、交通や家庭などでの利活用の推進という両面から、国が積極的に支援します。



**9-③ 循環型社会の形成に向けた3R・プラスチックごみ対策、鳥獣対策の充実・強化等**

賛 プラスチック、PCB、外来生物、野生動物による被害、アスベストなどは、いずれも重要な政策ですので、これまでの取り組みや予算を確保して継続的に進めます。

**10-① 感染防止対策を施した国際大会等の開催及びその効果を波及する施策の実施**

賛 私は「ゼロコロナ」政策はとりません。正しく感染症対策を進めたうえで、国民のさまざまな社会・経済活動を再起動してゆきます。障害者や高齢者の大会を含めた、各種スポーツイベントは、できるだけ開催できるように国が支援します。子供の学びを進める上でスポーツは欠くことができません。各学校の運動会や、県や市町村の選手権大会は、できるだけ開催できるよう、ルールを周知し、対策を徹底し、それらを国が支援します。

**10-② スポーツ・文化と他産業の融合、アスリート等の育成・強化**

賛 スポーツと文化や芸術との連携、障害者活動や子供の教育活動との連携、観光や産業への波及などは、いずれも重要な視点です。国を挙げて積極的に支援します。スポーツや文化について、我が国は独自のもの（空手などの武道、日本古来からの音楽や絵画、建造物など、そして日本独特の風習など）も多く持ち、成長産業になる可能性は極めて高いと思います。世界中の方々から見て、「国まるごとがワンダーランドとしての日本」「憧れを呼び、世界中の人が日本人になりたいと思う国・日本」という国づくりを、私が先頭に立って進めます。



自由民主党総裁選挙立候補者に対する提言への回答書

御名前 高市 早苗

項目		選択肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。	
1-①	新型コロナウイルス感染症対策のための財源の確保、地方創生臨時交付金の大幅増額等	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	使途の自由度が高い地方創生臨時交付金の活用が不可欠です。
1-②	官民連携による医療提供体制の確保、中和抗体カクテル療法など治療環境の整備・充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	自宅療養者ゼロに重点を置き、国内治療薬生産体制を整備します。
1-③	実効性ある検査体制、疫学調査、保健所体制の整備	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	パルスオキシメーターを全世帯に国費負担で配布。公的施設の活用
1-④	知事要請に即応した緊急事態宣言等、対策の弾力化、ロックダウン的手法の導入	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	最悪の事態を想定した法の整備は必要です。
1-⑤	行動制限緩和に向けた地方との速やかな協議、感染状況に配慮した検討、検査無料化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	地方のそれぞれの状況や事情をお伺いした上での対応が重要です。
1-⑥	新たな変異株に対する機動的かつ的確な水際対策の実施	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	これまで明らかになった課題を踏まえ、的確な対策を徹底します。
1-⑦	ワクチン接種体制の更なる充実、ブースター接種の実施、国民の理解促進に向けた取組	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	国や地方自治体が必要な対応を命令する権限を持つ法制化を検討。
1-⑧	経済再生に向けた補正予算による大胆かつ機動的な経済対策の早期実施等	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	物価安定目標2%達成までPB規律を凍結。戦略的な財政支出。
1-⑨	地方と連携した新型コロナウイルス感染症に対する偏見・差別等の排除	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	地方公共団体と連携し、ネット上を含めた対策を進めます。
1-⑩	コロナ禍において顕在化した女性への影響と課題に対応するための支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	誰一人として取り残さない、きめ細やかな対策をおこないます。
2-①	権限・財源移譲や計画の統廃合、国・地方協働型の行政運営などによる地方分権改革の推進	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	日本の発展には、地方自治確立と、地方税財源基盤確保が必要です。
2-②	地方との実質的な対話・連携による施策の推進や立法プロセスへの地方の関与の仕組みの強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	国の施策推進において、地方からの意見や提案は不可欠です。
2-③	憲法における地方自治の本旨の明確化と合区解消	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	憲法改正による合区解消に向けて引き続き取り組んでまいります。

項目		選択肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。	
2-④	地方一般財源総額の確保・充実をはじめとする安定した地方税財政制度の確立	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	各自自治体が安定的な財政運営を行うことができるよう支援します。
3-①	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に当たっての地方の意見の反映	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	地方の意見無くして、地方創生を進めることはできません。
3-②	5Gの整備加速化及び未来技術を活用したSociety5.0の実装支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	総務大臣時代に先頭に立って取り組んだ当該分野を更に前に進めます。
3-③	人材育成の核となる地方大学等への支援、地方への人の流れの創出	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	地方移転を希望する人材・企業・大学の受け入れ環境を整備します。
3-④	地方が行う観光施策やDMOに対する支援・インバウンド需要の回復促進	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	地方の積極的な取組は、国が大胆に支援してまいります。
3-⑤	多核連携型の国土づくりに向けた「地方創生回廊」の早期構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	高利便性交通ネットワーク構築は、経済・防災・医療等の発展に寄与します。
3-⑥	予防・健康づくりの取組に対する支援の充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	治療から予防へ、健康先進国を目指します。
4-①	各産業の早期再建に向けた支援体制の構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	新分野も含め、大胆な財政出動や税制措置等で戦略的支援を行います。
4-②	防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	10年間で約100兆円規模の「中期計画」で集中的に取り組めます。
4-③	地方自治体の機能喪失時における広域応援・受援体制の構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	危機に備え、応援・受援体制の構築を推進します。
4-④	拉致問題の解決を始めとした北朝鮮への断固とした対応	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	一刻の猶予もありません。金正恩氏との1対1の対談の場を急ぎます。
4-⑤	原子力災害時の災害対応のための体制整備	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	あらゆるリスクを想定した対応体制の整備が必要です。
5-①	地域医療構想の実現に当たっての丁寧な協議・検討及び必要な財源の確保	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	最適な地域医療体制の整備に向けて取り組めます。

項 目		選択肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。	下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。	
5-②	感染症などの危機的事象に耐えうる今後の医師確保、偏在対策	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	医療提供体制と検疫の強化は急務の課題です。
5-③	地域包括ケアシステム構築のための支援の強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	地域医療福祉の核として、支援してまいります。
5-④	健康立国の実現及びそれに関する各種制度等に対する支援の充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	治療から予防へ、健康立国の実現に取り組めます。
6-①	チルドレン・ファーストを実現する「こども庁」の創設	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	一体的な権限を持ち、法律を新たに提出できる組織の存在は必要です。
6-②	切れ目のない支援による少子化対策、国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	子育て世代の目線に立った、少子化対策を進めてまいります。
6-③	子どもの貧困対策等の強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	第2子以降への現金給付、育児休業時の実質手取り引き上げを行います。
6-④	地方が必要とする教職員定数の確保、専門・外部人材の更なる充実	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	現場で活躍する方々の処遇改善と体制拡充に注力します。
6-⑤	教育の情報化への財政的支援と情報化による学びの保障	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	様々な事情を抱える方々の学びの機会を増やす取組を進めます。
6-⑥	ヤングケアラー、不登校児童生徒等、学びが困難な環境にある方への支援強化	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	フリーアクセス可能な教材クラウドを作成します。
7-①	新しいビジネスモデルへの転換支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	日本の強みのある技術分野等に対し、戦略的な支援を行います。
7-②	研究開発の取組、資金繰り・投資促進、海外展開の支援	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	研究成果の有効活用と国際競争力の強化に向けて支援いたします。
7-③	国産木材の需要創出及び技術開発・人材育成に対する支援の拡充	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	国産木材の利用拡大に取り組めます。
7-④	地方が利用しやすい官民共同利用型キャッシュレス基盤の構築	<input checked="" type="radio"/> 賛	否	総務大臣時代に取組んできた基盤構築をさらに推進します。

項目		選択肢		
番号	提言要旨	いずれかを○で囲んでください。		下記欄には各項目についての主張を御自由に記載ください。
7-⑤	豚熱に関する長期的支援とアフリカ豚熱に備えた水際対策強化等の実施	<input checked="" type="radio"/>	否	養豚農家等への支援を継続するとともに、検疫体制を強化します。
7-⑥	強い農業と活力ある農村の実現に向けた財政支援等の強化	<input checked="" type="radio"/>	否	生産基盤強化や輸出拡大、食料自給率向上を図ります。
7-⑦	外国人材受入れに係る地方等の意見の反映	<input checked="" type="radio"/>	否	地方自治体の意見を丁寧に伺った上で、施策をおこないます。
8-①	孤独・孤立対策の推進	<input checked="" type="radio"/>	否	地方自治体と連携し、孤独・孤立問題に取り組みます。
8-②	就職氷河期世代の活躍を促進する仕組みづくり・気運醸成等と財政的支援	<input checked="" type="radio"/>	否	総務大臣時代に先頭に立って取組んだ支援を、さらに推進します。
8-③	新しい働き方に必要な法や社会保障制度に関する整備の検討	<input checked="" type="radio"/>	否	総務大臣として推進したテレワーク等、時代に相応しい制度を整備します。
8-④	地域女性活躍推進交付金の制度継続及び十分な財源の確保	<input checked="" type="radio"/>	否	女性をサポートする「女性総合診療科」普及と医療人材育成を進めます。
8-⑤	差別解消に向けた対策の実施及び人権課題に係る財源の確保・充実	<input checked="" type="radio"/>	否	ネット上の権利侵害も含め、人権課題解消に取り組めます。
9-①	脱炭素社会の早期実現及び地域との共生ができる再生可能エネルギーの導入促進	<input checked="" type="radio"/>	否	脱炭素目標達成と産業の維持発展が両立するエネルギー政策を推進。
9-②	水素社会の早期実現に向けた技術開発・研究、規制緩和	<input checked="" type="radio"/>	否	水素に係る技術開発、研究への支援強化を進めます。
9-③	循環型社会の形成に向けた3R・プラスチックごみ対策、鳥獣対策の充実・強化等	<input checked="" type="radio"/>	否	感染防止用アクリル板等、環境に配慮した技術開発支援に取り組めます。
10-①	感染防止対策を施した国際大会等の開催及びその効果を波及する施策の実施	<input checked="" type="radio"/>	否	ワクチン証明や検査を組合せた徹底した感染防止対策が必要です。
10-②	スポーツ・文化と他産業の融合、アスリート等の育成・強化	<input checked="" type="radio"/>	否	トレーニング環境、国際大会の費用手当など、支援強化が必要です。